

きたたんば ひがしながれ
北丹波・東流遺跡(本発掘調査B)

所在地 稲沢市下津丹下町・下津森町・下津下町西一丁目
 (北緯35度15分6秒 東経136度49分39秒)

調査理由 街路改良工事(都)名古屋岐阜線

調査期間 平成29年5月～平成29年6月

調査面積 490㎡

担当者 酒井俊彦・蔭山誠一



調査地点(1/2.5万「一宮」)

調査の経過 街路改良工事(都)名古屋岐阜線にともなう事前調査として、愛知県建設部都市整備課一宮建設事務所から愛知県教育委員会を通じて、愛知県埋蔵文化財センターが委託を受け、県道名古屋岐阜線の下津交差点から北側の道路中央部分490㎡を調査した。県道名古屋岐阜線の本事業にともなう拡幅部分は、平成24年度に2,320㎡、平成25年度に1,000㎡、平成27年度に390㎡を分けて調査している。本年度の調査では、調査区の北側を17A区、南側を17B区に分けて調査した。

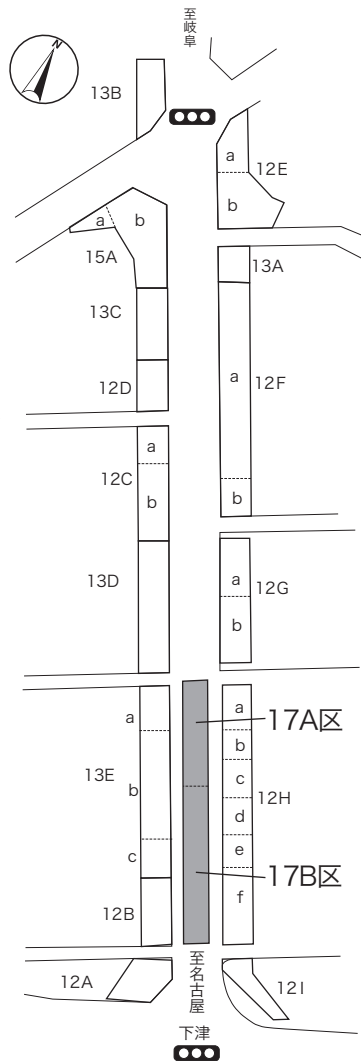
立地と環境 遺跡はJR東海東海道線稲沢駅から約350mの地点にあり、現在でも県道名古屋岐阜線が遺跡の中央を通過している交通の要地にある。その立地は青木川の右岸にある水田と宅地・畑地が混在する微高地の縁辺部分にあたる。

調査の概要 調査区の現況は、県道の道路敷きの下となり、県道道路面の標高が5.5m前後、その下に近代以後の水田耕作土層が2層あり、上層の道路敷設以前の水田面標高が5.0m前後、その下に整地層を挟んで、下層の水田面標高が4.3m前後にあり、下層の水田耕作土層までは、バックホウにより除去した。遺構検出は2面実施し、1面は標高4.2m前後、2面は標高4.1m前後であった。

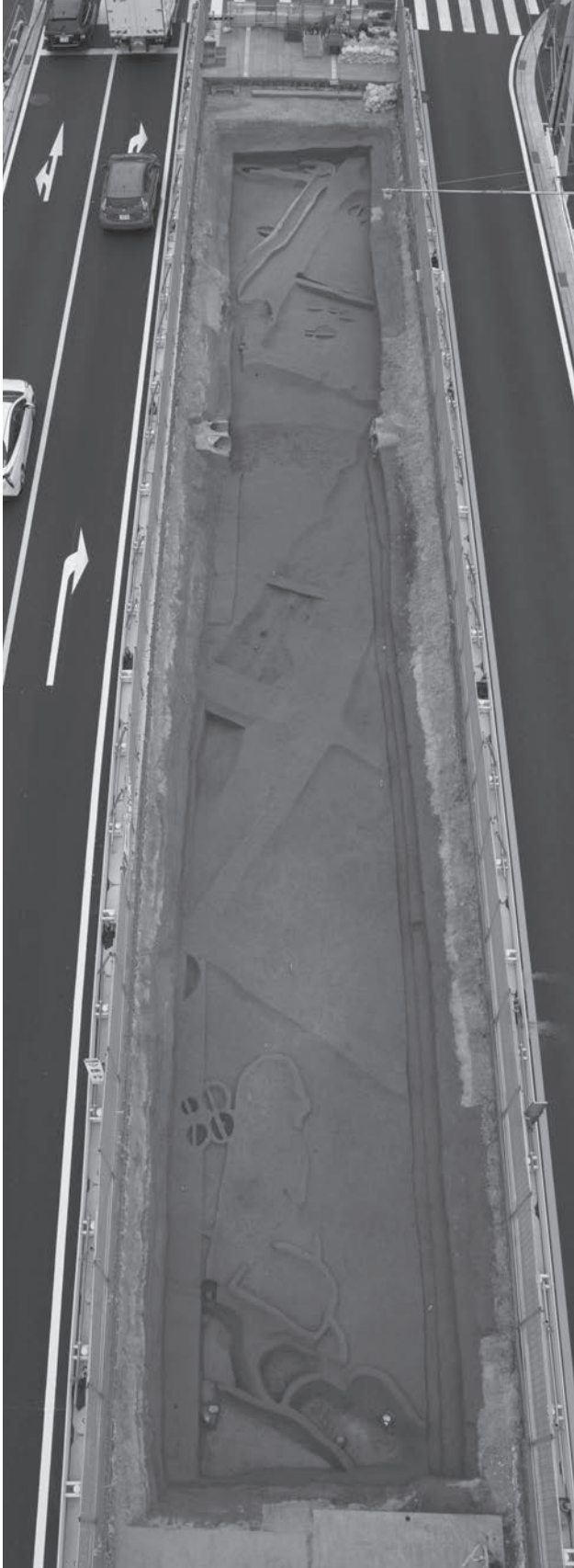
確認できた遺構は飛鳥時代から奈良時代にかけての竪穴建物22棟、土坑85基、溝2条、自然流路1条、鎌倉時代から室町時代の溝16条、戦国時代～江戸時代にかけての水田遺構15筆、溝1条、土坑15基がある。

1面の遺構は、17A区では調査区の北端部において江戸時代後期以後の水田遺構があり、調査区の南側にて戦国時代以後の条里型水田遺構を6筆確認した。17B区では調査区全体に戦国時代以後の条里型水田遺構9筆、溝1条があり、調査区北端部に17A区に続く中世後期の溝6条、中央部分に南北方向の溝1条を確認できた。

2面の遺構は、17A区では調査区の南側において17B区の北端で1面において確認した溝から続く南北方位の中世以後の溝7条、その北に同時期の溝8条、17A



調査区位置図(1:2,000)



17B区1面全景(北西より)



17A区2面全景(北西より)

区北端部で古代の自然流路と思われる落ち込み1条とその南側に竪穴建物4棟、土坑20基、17A区と17B区の境部分に東西方向の古代の溝1条、この溝の北に1棟と南に17棟の竪穴建物を確認した。

古代の遺構からは、6世紀末から8世紀後半にかけての須恵器と土師器などが出土し、東西方向の溝の時期を挟んで竪穴建物や土坑などが連続と営まれたものと考えられた。17B区の北端部にある自然流路は、当初上面に炭化物が多くみられ、その範囲を竪穴建物と認識して掘削を行ったが、北の調査区外側に傾斜する自然流路であることが確認できた。その埋没過程において複数の柱穴となる土坑がみられる。17B区の中央東壁にかかる位置に、動物骨が出土する土坑が1基ある。

中世の溝は方形区画を形成していた区画溝と思われ、出土遺物には鎌倉時代の山茶碗や小皿が出土するが、室町時代以後の灰釉縁釉小皿などが少数出土することから、時期は室町時代にかかるものと思われる。

1面にて検出された南北方位の条里型水田遺構からは、古代の須恵器・土師器、中世の山茶碗・小皿・伊勢型鍋、戦国時代の大窯様式の施釉陶器などが出土しており、戦国時代から江戸時代にかけてのものと考えられる。水田遺構は17A区から17B区北側では深さ5cm以内と浅く、17B区南側では深さ20cm～30cm前後と深くなる。

ま と め 今回の調査成果から、飛鳥時代から奈良時代にかけて、鎌倉時代から室町時代にかけて、戦国時代から江戸時代にかけての大きく3時期の遺構が確認できた。今後は平成24年度から平成27年度に実施した調査成果と合わせ、全体の遺構変遷や時期毎の遺跡の性格などの究明が望まれる。
(蔭山誠一)



17A区2面全景(北西より)



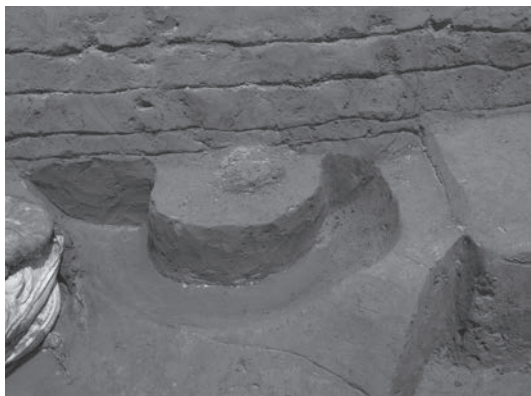
17A区023SI・026SX・024SD(南より)



17A区031SI遺物出土状況(東より)



17A区037SK遺物出土状況(南東より)



17B区062SK 獣骨出土状況 (西より)



17B区135SL (068SIカマド) 検出状況 (南西より)



17B区066SI・067SK・068SI (北東より)



17B区126SK 礎板出土状況 (北より)



17B区130SI (南西より)



17B区137SL (037SIカマド) 土層断面 (北東より)



17B区034SD～037SD (西より)



17B区129SD 遺物出土状況 (西より)